

第 1 2 オホーツク海沿岸の津波浸水想定（R 5）

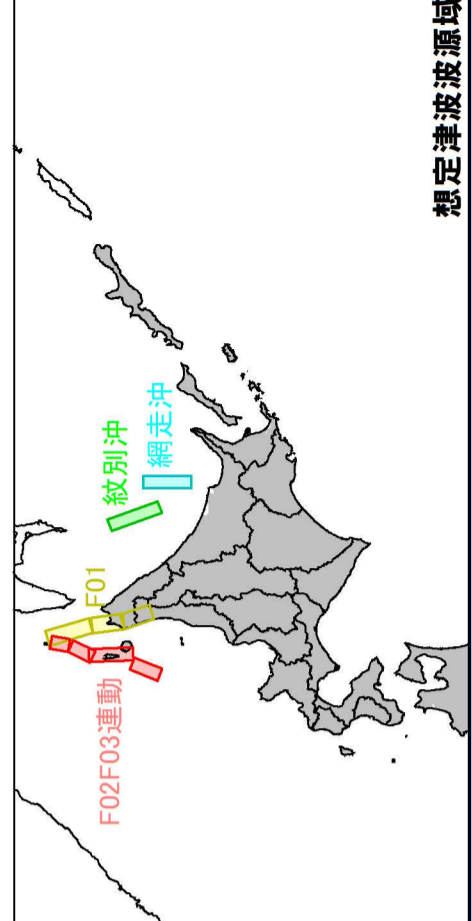
- ・オホーツク海沿岸の津波浸水想定区域図及び北海道オホーツク海沿岸の津波浸水想定について（解説）
より抜粋

〔留意事項〕

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりに実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これより大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりします。
- この津波浸水想定は、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。津波が来襲する可能性が異なります。
- 地震の震源が想定都市部以外に近接しないなど、条件が異なる場合には、ここで表示した時間よりも早く津波が発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いることから作成しているため、航空写真や地形データを用いた精度が低い区域が複数あります。
- 津波は自然現象であり、想定には不確定性を伴いますが、今回想定したものは、過去の津波発生実績や河川流量、構造物の破壊状況のデータに基づき、現実性を含み、今回想定したものは、ある程度幅を持っており、今回の想定結果とは限りませんが、場合によってはこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではありません。住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していただく必要があります。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性がります。

〔シミュレーションの条件〕

- (1) 想定津波
 - 日本モデル【F01】
 - 日本モデル【F02F03連動】
 - オホーツク海モデル【紋別沖の地震】
 - オホーツク海モデル【網走沖の地震】
- (2) 構造物条件
 - 海岸堤防、河川堤防などの施設は、津波が越流する想定
 - 地震動により破壊、施設の機能が失われる想定
 - 潮位条件
- (3) 潮位条件



想定津波波源域

市町村名	稚内市	猿払村	浜頓別町	枝幸町
最大津波高 (T.P.m)	2.8 ~ 7.6	3.2 ~ 5.9	3.4 ~ 7.2	3.7 ~ 9.2
影響開始時間 (分)	3 ~ 34	7 ~ 56	38 ~ 46	28 ~ 36
最大津波到達時間 (分)	23 ~ 52	44 ~ 62	44 ~ 53	35 ~ 44

※上表は、市町村ごとに、海岸線における最大津波高および到達時間を整理したものです。
 ※最大津波高の単位は標高T.P.mで、小数点以下2位を切り上げた数値で表示しています。
 ※最大津波高は、複数ケースのシミュレーション結果を重ね合わせ、最も高い津波高の最小値と最大値を表示しています。
 ※稚内市内は、宗谷岬以東のオホーツク海沿岸における値を表示しています。
 ※この結果は、現在の科学的知見を踏まえ、悪条件下において、津波の浸水予測を行ったものですが、想定より大きく、到達時間が早い津波が襲来する可能性がないというものではありません。

